

岩手研究所新社屋建設について（調印式・社長スピーチ全文）

この度、I P Uイノベーションパークに岩手研究所を建設させて頂くことになりました。

なぜこの地を選んだかと申しますと、1つには滝沢市様から熱意ある誘致を頂いたこと、2つにはこの地が自然に恵まれていること、3つに極めて優秀な人の財に恵まれていることです。いいかえれば、清く美しい自然の活力、岩手県立大学を中心とした知の活力、顔の見える関係を築ける行政当局の活力を、弊社に取り込み、一層の発展を目指したいと思ったのです。

私たちは東京浅草に本社を置くソフトウェア開発会社です。つい7~8年ほど前までは、休出や残業もいとわず、より良いシステムを作るために開発に邁進してきました。

しかし、時々思っていました。

良いものを作るは良しとしても、コンクリートの箱の中で効率を優先し、経済的利益を追い求めることが、真つ当な働き方なのかと。

会社である以上利益は重要です。しかし、利益は会社のため込むものでも無く、増してや経営者の富裕の為のものでもありません。利益は、社員と地域や社会に還元すべきものです。

弊社はそうして来ました。

しかし、それでも疑念は残るのです。

これで、イノベーションを起こすことは出来るのだろうか。

それでも、私たちは、社員全員で努力を重ね、年間休日125日を達成し、残業も本当に少なくなりました。

しかし、それでも何か足りないのです。

弊社の企業理念には、「社員の働く楽しさと幸福を追求する」という一文があります。

ただのうたい文句になってはいないだろうかという疑念が振り払えないのです。

今回お譲りいただく土地は、2,513㎡約760坪あります。第1期では敷地の北側に和風平屋の約72坪の建物を建設します。

工法は、伝統的な木造軸組み、耐震性とデザイン性に優れた金属瓦を用います。

工事は滝沢市の有限会社山井建設、東京の棟梁稲葉氏とのコラボレーションによる建設です。

ちなみに山井社長は岩手県立大学のOBです。

社屋には、薪ストーブを導入し、内部もデザインに配慮した楽しい造作に致します。

庭は敷地の大部分を占めます。

そこには滝沢市の樹であるベニヤマザクラ、滝沢市の花ヤマユリを植え、リンゴ、カキ、エゴノキ、ナツグミなど実のなる樹を配します。

これらの果実は人のためのものではありません。

野鳥のためのものです。

これらは、小岩井農牧様を訪れて教えて頂き、

20種からなる野鳥を呼ぶ樹木のリストも作って頂きました。

雑草もここでは大事な仲間です。根絶やしにしないで刈り込むことで、生命を育む環境を作ってくれることでしょう。

将来は、この庭を取り囲むようにして、2棟、3棟と研究棟を建てていきたいと思っていますのです。

全体コンセプトは、自然と共生する庭園オフィスです。

今まで盛岡市と岩手大学の方々には本当にお世話になってきました。

2007年にコラボM I Uに入居させて頂いたほか、研究分野では、当時岩手大学教授、現在、産業技術短期大学の校長をされている千葉則茂先生との共同研究をはじめに、現在も田中隆充先生、明石卓也先生と研究を共にしています。

東日本震災の時には、岩手県と盛岡市に協力いただき、私たちの現場報告アプリ「Smart Attack」を災害ボランティアの方々に無償配布し、役に立てて頂くことが出来ました。

久慈市では、「くじやる」という名称でつなみ避難誘導アプリをリリースさせて頂きました。

盛岡市の美容院「花耶」様では、似合う髪型アプリの実装を実現いたしました。

これらは、全て岩手県、盛岡市、岩手大学様のおかげです。

また、人財面では、盛岡情報ビジネス専門学校様にも多大なお力添えを頂きました。

本当にありがとうございました。

この度、岩手研究所を建設させて頂くに当たっては、再び岩手県様、新たに滝沢市様にお力添えを頂きました。

心から感謝いたします。

この地には、岩手県立大学という最高学府があります。

弊社にも多くの卒業生が入社し、会社を支えています。皆極めて優秀です。

これからは、岩手大学様のほかにも、県立大学様の力もお借りして、さらに研究開発の輪を広げていきたいと願っています。

滝沢市の憲章には、「地域の絆と支えあいを築きます」さらに「楽しみ、よろこび、生きがいを見つけます」という文節があります。

私どもも、これに学んで地域との絆を深め、私たち自身が楽しみ、よろこびを見つけ、地域の発展に少しでもお役に立ちたいと思っています。

そして、弊社も社員の働く楽しさと幸福を追求してみたいと思っています。

新しい研究所には、扉の無い門を作ります。皆様をいざなう為の門です。

そして、門脇に岩手県の木であるナンブアカマツを植え、門柱には、「ようこそ ゴーイングドットコム」の文字が刻まれることとなります。

竣工は2019年9月。どうぞ、皆さま、扉の無い門をくぐって遊びに来て頂けたらと思っています。

本日はこのような場を設けて頂き、感謝に耐えません。

皆様と絆を深め、共に発展していきたいと思えます。

ありがとうございました。

